

特集 ◇新コンピュータシステム導入後の図書館
TOPICS ◇「ゴリラの絵本を作る」講演会と原画展
◇左京図書館
よく借りられている本

特集 新コンピュータシステム導入後の図書館

昨年10月に、図書館18館とこどもみらい館の子育て図書室（併せて19館）がコンピュータネットワークで結ばれ、インターネットで蔵書検索が可能になるなど、京都市の図書館に大きな変化がありました（主な内容は2頁参照）。この新システム導入後に図書館を利用した感想をけやきで募り、左京図書館と中央図書館に声を届けると共に、現状をきいてきました。新システムに対する要望、以前からのルールと合わない実情等を話し合いました。

また一層の利用者1人1人に向けてのサービスを要望しました。

貸出数が増加して—左京図書館では

A：左京図書館・増田館長、山田副館長、原田司書

Q：けやき・奥坂、北園、島崎、永井

1月31日 左京図書館にて

◆うれしい悲鳴

Q 新システムを導入して以降の館の様子を教えてください。

A まず、貸出冊数が相当伸びました。1日千冊以上の日が続いています。千冊をきるのは1カ月に1度くらい。12月26日の年内最終開館日には貸出が3630冊に達しました。これは地域館としては大変多い数です。今までの最高が2800冊でしたから。貸出が1人5冊から10冊になったことが大きく影響していると思います。

Q それでは、返却数も...

A 返却数もすごいですね。特に土日は多いです。また、火水休館の後の返却ポストには千冊ほども返ってきています。

Q その中には、他の京都市図書館の本もあるのですかね。

A 自館、他館の本が交じっています。これを整理して、週4回各館を巡回しているメール車で運びます。

Q このような他館との相互貸借も増えていきますか？

A そうですね。今回のシステム変更をするために臨時休館をした際に、他館との貸借ネットワークがあることも広報しました。それで、改めて情報が行き届いたようで、利用が増えました。また、本の予約も相当数増えています。利用者が自宅のコンピュータで検索してから、来館することもできるようになったからでしょう。

Q このように利用が増えて、仕事の量は？

A たくさんの利用を頂き、うれしい悲鳴をあげていま

す。貸出・返却業務が大変忙しくなりました。レファレンス業務を前面に出してしたいのですが、現状は手一杯で...

◆便利な「貸出レシート」

Q 利用者としては、「貸出レシート」が大変便利です。返し忘れがなくなったという声も。

A 長期延滞率については、窓口での感覚として、貸出冊数が増えている割には、督促の数が増えていないように思います。レシートの効果もあるでしょうし、また今回のシステム変更で、京都市の図書館のカードは1人1枚にまとめられたので（今までは、各館でカードを持つことも可能だった）、このことも大きいでしょう。延滞があるカードでは、新たに貸出ができませんから。

Q コンピュータで自宅で検索できたり、館内でも、キーボード付の検索機が加わったり、コンピュータの使える人にはとても便利になりました。以前に比べ使い方をきかれることは増えましたか？

A 皆さん結構ご自分で操作されています。中には、パソコンの初心者の方から使い方を聞かれることもあります。

Q 一方で、コンピュータとは無縁だったり、使うのがおっくうだったりする利用者もいます。このような利用者が疎外感をもつことのないよう、より一層、人と人のあたたかなふれあいのある図書館であってほしいと願います。

19館のネットワークを生かす利用者サービスを

京都市中央図書館にインタビュー

新システム全体についてけやき会員から集まった疑問点、要望を携え、中央図書館に話をききに行きました。主な項目は次の3点です。

- ◆インターネットで見ることの出来る検索画面について。
- ◆京都市の図書館19館のネットワーク完成後の課題。
- ◆移動図書館について。

A：中央図書館・勝野図書課担当課長、仲田図書課課長補佐
Q：けやき・北園、島崎、永井 / 1月27日 中央図書館にて

◆わかりやすい検索画面に

まず、インターネットで見ることの出来る検索画面について疑問や要望を質問しました。(3頁参照)

(検索画面は、京都市図書館のホームページ <http://www.kyotocitylib.jp/> から「蔵書検索」へ。但し、図書館内にあるタッチパネル式の検索機とは画面内容が異なる。下記はインターネットでの検索画面について述べている。)

Q 自宅のコンピュータで検索ができるようになって、便利にはなったのですが、検索の画面は3頁にあげたように使いにくい点があります。これは、図書館が業務用に使っているのと同じ画面ですか？

A 全く同じではありませんが、基本的には同じものです。

Q 利用者用には、検索機能を絞った単純な画面を一番最初に出してほしいのです。例えば津市図書館の検索画面のように、まずキーワードのみの検索画面が出て、さらに詳しく検索したい人は、次の画面に移るといったような仕組みです。

A 画面を階層化してわかりやすく、というのは理解できます。システムが動きだして、まだ3カ月で、課題があることは認識しています。例えば各館の蔵書を調べるのは、確かに今の方式はとても面倒で、改善が必要と感じています。なお、ホームページ上の「京都市図書館一覧」から調べたい館を選んで、そこから「検索画面」に入るとその館の蔵書を検索することはできます。

Q 検索項目にある「内容細目」とは？

A その本の「目次」が書かれている、と理解してください。タイトル等に載っていない場合でも、「目次」に出てくる言葉で検索できるということです。特に全集ものの中から、作品を探すときなどに有効です。

Q そのような説明が画面にほしいですね。

A そうですね。ただ、「一般件名」などで検索しても、その条件をコンピュータは「内容細目」の項目にも探しに行くのです。

Q それなら、なおのこと、「一般件名」で普通の検索は充分できる、という情報がほしいですね。画面はシンプルに、そして、必要な説明が引き出せるような仕組みをお願いします。

A 修正には限界もありますが、できるだけ使いやすいものになるよう改善に努めます。

Q 本の予約をインターネットでできるようにという声が多いのですが。

A これは、新システムの次のステップとしてそう遠くない時期に実現できるよう考えています。

◆ネットワークが完成して

Q 他館から本を取り寄せられるのは便利ですね。ただ、今、不便なルールとして、左京図書館の蔵書だがこれが貸出中のとき他の館から同じ本を取り寄せたいと思っても、出来ないということがあります。

京都市図書館19館 新コンピュータシステム導入後の主な変更点 2002年10月より

1. 貸出冊数が増えた。
 - ・個人貸出 1人1回につき10冊まで/特別貸出・在宅貸出 1人1回につき20冊まで。
2. 1枚の図書館カードで移動図書館も含め全ての京都市図書館の利用が可能になった。
3. 本が探しやすくなった。
 - ・利用者用の図書検索用端末が1台増え、検索結果を印刷できるプリンタを設置。
 - ・日本十進法分類(NDC)による検索が可能に。
 - ・検索のスピードがより速くなった。
4. インターネットでの蔵書検索が可能に。
 - ・個人のパソコンからも、図書館(ウェブ検索ができる端末設置)からも
5. 借りている本のバーコード・書名・返却期限日が印字されている貸出レシートが登場。
6. 利用者向けのCD-ROM専用のパソコン端末が設置され、京都新聞縮刷版を見ることが出来る。
7. 1枚の図書館カードで移動図書館も含めてすべての京都市図書館の利用が可能に。



検索画面

蔵書検索 戻る HELP

検索項目 一致条件 論理式

① 検索値

タイトル [] 前方一致 AND ②

著者 [] 前方一致 AND

出版社 [] 前方一致 AND

③ 一般件名 [] 前方一致 AND

個人件名 [] 前方一致

検索 取消

単独検索項目(半角)

項目 []

絞り込み条件(半角)

回数 [] ~ []

対象資料

図書 AV

所属指定

中央図書館 移動図書館 伏見中央図書館 北図書館 左京図書館

東山図書館 山科図書館 下京図書館 南図書館 右京図書館

西京図書館 洛西図書館 醍醐図書館 醍醐中央図書館 こどもみらい館

向島図書館 久我のもり図書館 吉祥院図書館 岩倉図書館 久世ふれあい

④⑤
図から内容細目などの項目に進める

- ①画面に、「検索値」「論理式」等のコンピュータ用語が載っている、難しい印象をまず受ける。このような言葉は載せなくても、機能するはず。
- ②「AND」「OR」検索の表示、これでわかる人もいれば、「すべて」「いずれか」と言葉に置き換えた方が使いやすい人もいます。できるだけ使いやすい画面になるよう、配慮してほしい。
- ③「検索項目」にいろいろな条件が設定されているが「一般件名」や「個人件名」とは何か、何をここに入れて検索したらよいか、手引きがなく、わからない。
- ④検索項目はタイトル、著者、出版社、一般件名、個人件名の他に、シリーズ件名、内容細目、キーワード、記事索引、曲名、そしてNDC分類も使えるようにはなっているが、それがどのような分類なのか手引きがない。
- ⑤「NDC分類」を使えるなら、具体的な分類表から検索できるようにしてほしい。
- ⑥「所蔵指定」は18館+こどもみらい館+移動図書館の20館分にチェックがついていて、全館の検索をする設定だが、1~2館の所蔵のみ見たいとき、チェックボックスからチェックをはずさねばならず、不便。
- ⑦子ども用の画面がない。調べ学習等で、自宅や学校のパソコンから子どもが検索する機会も増えてきたので、実現してほしい。

（図書館内にも、インターネットで蔵書検索するパソコンが設置されている。従来からあるタッチパネル式検索機とは画面内容が異なる。）

A 中央図書館でもそういうケースが多く、利用者から、なぜ出来ないのか、という質問をたびたび受けています。取り寄せをしている内に、貸出中の本が返却される可能性も高いので、以前からのルールにしています。

Q 各館を回るメール車も週4回と増えています。また、市の19館全館のネットワーク化が完成したのですから、以前のルールで見直すべきものは見直して、実状にあったサービスを考えて頂きたい。

A 今回の新システム移行で今まで3つあった図書情報等のデータベースを一つにまとめました。これで、各館の単独完結型から複合型に変わる端緒となりました。つまり、19館全部で一つの大きな図書館というイメージで、運営していこうとしています。そのため、新システム稼働時に全館共通ルールを作って運用しています。

Q 実状は、サービスに対する考え方が各館でバラバラなのでは。例えば、ある館でよいとされたサービスが他の館には広まらなかったり。

A そういう差はなくそうと、月1回館長会、副館長会を開いて共通理解を深めています。ネットワーク化以前からの各館でのルールの温度差も調整しています。

Q 司書さんの利用者への対応にもばらつきがあるように思います。

A 百名以上いる司書にも共通認識をもって質の高い利用者サービスができるように、またコンピュータのスキルアップのためにも、研修を重ねていきたいと考えています。

Q 選書は各館でしているのですか。

A そうです。ただ、市民のニーズを受けて蔵書をどのように構成するか、今、収書システムそのものを変

えていかないといけないと認識しています。

Q 各館で土地柄を生かした特徴のある収書がなされるといい、という声はけやきからもあがっています。

A 一部の館では行っていますが、全体の収書方針とも絡んで今後の課題です。

Q 団体貸出についても、コンピュータで管理できるようになったのですから、今までのルールを見直してほしい。まとめて借りた本でも、不要になったら、一部でも返却できるようにした方が、本が生きてくると思うのですが。

A 検討します。

◆市民に均質なサービスを

Q 市内北部などの山間部では図書館に行くのは一苦勞という声をききます。

A 移動図書館車（こじか号）が2千冊の本を積んで月1回市内周辺部に設けた39基地に出向いていますし、今回から端末機も積み、その場で全館の蔵書情報を検索して利用出来るようになりました。予約した本は次回のこじか号が運びます。

Q 以前よりは便利になったのですね。ただ、それではその本が手に入るのは1カ月後ですね。

A そうです。

Q インターネット予約ができるのと1カ月も待たなくてすみませぬ。またこじか号が月2回行くことができれば...

A ともあれ、コンピュータ化されてもその恩恵にあずかれない利用者もいます。その点を常に念頭に、利用者サービスを考えていって頂きたい。

A 本日は貴重な御意見をいただきありがとうございました。今後には生かしていきたいと思ひます。

TOPICS

「ゴリラの絵本をつくる」 山極寿一氏講演会と原画展

2003年1月20日
於：3階大会議室



人類学者の山極寿一氏を迎えて、けやきと左京図書館の共催で、講演会を開催。会議室いっぱいの81名の参加がありました。

山極先生はアフリカのジャングルでのゴリラの研究をもとに広く人類や類人猿について考察をしておられます。また昨年には絵本『ゴリラとあかいぼうし』も発表されました。

講演では、まずゴリラの観察者として群に入った体験を紹介。また、現地コンゴでは人々が密猟者とそれを取り締まる人間に分かれて対立していた現状があり、これをなんとかしようとして

「ポレポレ基金」というNGOを作ったいきさつや、そこでの活動に芸術をとりいれたこと、さらに絵本製作の経緯など、具体的にわかりやすいお話に聞き入りました。



福音館書店 02年

ゴリラと地元の子どものために側を立てて構想したこの絵本、

その絵を描いた地元のダビッド氏が本を手にしたのは出版から半年後。というのも現地は内戦の状態、誰かが現地に行って手渡ししか輸送手段がないのです。しかし、世界はこのような状況があることを忘れており、現地では孤立感が深まっている。そこで、現地から発信し、世界につながる活動を共にすすめていければ、と考えるそうです。

その一つの結実である『ゴリラとあかいぼうし』を会場からのリクエストで先生が朗読。特に「ゴリラ語」の場面は、ゴリラと共に時間をすごされた先生ならではの音声と迫力でした。

「野生の中に踏み込むと、動物の目に人間がどう映っているか、想像することが出来る。彼等の生活のもっている価値に、今まで気付かなかった重要なことがあるかもしれない」「境界を踏み越える」「こちら側にひきよせるのではなく、向こう側から見る」という先生の言葉に、印象深い、考えさせられた、という感想が多く寄せられました。

また15日～20日には図書館内で絵本『ゴリラとあかいぼうし』原画展も開催、原画ならではの絵の奥行きを鑑賞することができました。

* * *

けやきの活動を始めて以来、身近な図書館が地域の文化の情報発信の場になることを願ってきました。今回、左京図書館と共催で、念願の講演会が実現しました。

アンケートによると、左京区内の参加者の内、地元養徳学区が最も多いものの、北は明徳学区から南は錦林学区まで12学区からの参加者がありました。

けやきの活動を知らなかったという人はアンケート回収50人中24人、ニュースレターを読んだことがあるという人は19人でした。また申込みは図書館に20人、けやき事務局に51人、その他当日参加がありました。

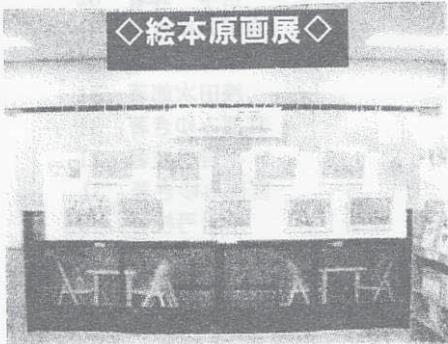
今回の講演会は「図書館を身近に感じた」等、概ね好評です。これからも、このような行事を通して、図書館や友会の活動に興味をもってもらうきっかけにもなればと考えます。

講演会の感想から

- ・ゴリラの絵本を書かれましたいきさつ等とても興味深いお話を伺え楽しかったです。
- ・ゴリラを通じて人間社会を考えさせられるお話でした。
- ・絵本は民族をこえて交流できるというお話はとても共感できました。
- ・2時間が短く感じられるほど楽しい講演会でした。
- ・絵本のゴリラの声の部分が、本当にゴリラと会話された先生の声で聞くことができ、よくわかりました。
- ・この会議室をこれからもこういう楽しいお話の聞ける場所に。左京の玉手箱に。
- ・図書館で講演会、原画展が開かれることに感激しています。
- ・講演会・イベントなどの情報をアピールしてほしい。

けやきの活動 10月～2月 ('02～'03)

◇絵本原画展◇



- 10/7 ニュースレターNo.11印刷
- 10/20 ニュースレターNo.11発送
- 10/21 図書館とのミーティング
ニュースレターNo.11印刷
- 10/26 おたのしみ会
- 11/11 図書館とのミーティング
- 11/16 絵本コーナーの飾りをつくる会
- 11/23 おたのしみ会
- 11/29 映画上映会
- 12/2 図書館とのミーティング
- 12/18 講演会準備
- 12/19 スペシャルおたのしみ会
- 12/24 講演会の案内印刷発送
- 1/10 図書館とのミーティング
- 1/11 原画展の原画搬入
- 1/13 原画展示立ち会い
- 1/15～20 絵本『ゴリラとあかい
ぼうし』原画展開催
- 1/20 山極寿一氏講演会
- 1/24 原画返却
- 1/25 おたのしみ会
- 1/27 中央図書館に取材
- 1/31 左京図書館に取材
- 2/3 図書館とのミーティング
- 2/上旬～ニュースレターNo.12編集
- 2/5 絵本コーナーの飾り、
折り紙で五人囃子作成

※図書館主催行事は、協力

◇毎月のおたのしみ会◇



(03年2月)

◇絵本コーナーの飾り◇



森はかわいいいきのこで
いっぱい

五枚重ねの折り紙で
作ったおひなさま
三年がかりで完成！

工作会での作品

けやきの 本棚 12

わたしの
おすすめの本

黒ねこのおきゃくさま

黒ねこのおきゃくさま



ルース・エインズワース作
福音館書店 99年

ムシャノコウジガワ

さんの鼻と友情

二宮由紀子作・荒井良二絵
偕成社 01年

あるところに大きな大きな鼻を持った人がいました。よろよろ歩いては、鼻が地面に大きな穴をあけてしまいます。町中大きな穴だらけ。彼が穴に落ちると、鐘当番が町のみんなに知らせ、みんなは仕事でも走って来てはひっぱりあげてやらなくてはなりません。町中の人々がなんともユニークに描かれていて、これを読んでやると子供はゲラゲラ笑って大喜びしてくれます。

(I・吉田)

穴

ルイス・サツカー著

講談社 98年

砂漠のまん中にある少年院のキャンプに送られてしまう。そこでは女所長の命令でくるともくもく穴を掘る毎日、ついに命がけで脱出するが、胸のすくような大逆転、少年達の勇気と友情。そして決してあきらめないこと。次第に見えてくるストーリーに引き込まれる、爽快な話。高学年くらいから充分楽しめます。(会員 M・F・高野)

魔法使いハウルと火の悪魔
ダイアナ・ウイン・ジョーンズ作 徳間書店 97年
魔法使いハウルは、危険を承知で魔法使いハウルの住む空飛ぶ城に出向く。お話しは『オズの魔法使い』のパロディ風で可愛らしいが、呪いは、「老婆に姿を変える」と

左京図書館 よく借りられている本

一般図書 (上位23冊) 貸出回数

2002年10月～2003年2月

発火点	真保裕一著	43	金持ち父さん貧乏父さん	ロバート・キヨサキ著	32
トキオ	東野圭吾著	43	森のなかの海	上 宮本 輝著	32
インストール	綿矢りさ著	41	ドリームバスター	宮部みゆき著	31
あかんべえ	宮部みゆき著	41	レイクサイド	東野圭吾著	31
初春弁才船	平岩弓枝著	37	沙高樓綺譚	浅田次郎著	31
晴子情歌 上	高村 薫著	37	ぼんくら	宮部みゆき著	31
老いてこそ人生	石原慎太郎著	36	はやぶさ新八御用旅	平岩弓枝著	31
生き方上手	日野原重明著	35	模倣犯 上	宮部みゆき著	31
13階段	高野和明著	35	鬼女の花摘み	平岩弓枝著	30
森のなかの海 下	宮本 輝著	34	スプートニクの恋人	村上春樹著	30
片想い	東野圭吾著	33	だから、あなたも生きぬいて	大平光代著	30
晴子情歌 下	高村 薫著	32			

☐☐☐ 図書館友の会「けやき」の仲間になりませんか ☐☐☐

知りたい、調べたい、本の世界を楽しみたい
そんな私たちの望みをかなえ、

一人一人の世界を豊かにしてくれる場所。
それが私たちの願う図書館です。

左京図書館が今後もこのような市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと「けやき」を作りました。図書館のスタッフとともに、左京図書館を支え、育てていきたいのです。

こんな活動をしています 一緒にしましょう

子どもたちに絵本を読んだり、人形劇やおはなしも。
紙芝居やパネルシアターなどの製作。

映画上映会など左京図書館の催しに協力したり、
「けやき」のテープ録音や、絵本コーナーの壁面を飾る作品を作ったり。
図書館の現状を調べたり、提案も。ニュースレター「けやき」を発行。

ぜひあなたの思いを形にして

図書館友の会「けやき」の仲間になってください。

◆入会希望の方は、年会費500円をそえ下記事務局または郵便振込口座にお申し込みください。

事務局 京都市左京区高野東開町1-23 26-101 永井方
TEL/FAX 075-721-2625

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914番
口座名称 図書館友の会 けやき

年会費はニュースレターの印刷および郵送費の一部に充当します。

◆活動費のカンパも歓迎します。直接または上記の振込口座をご利用ください。

けやき情報板

絵本コーナーの飾りを
いっしょに作りましょう

絵本コーナーの壁面の飾りを作る会で指導して下さる方を募集しています。連絡ください。アイデアの提供もお待ちしています。子どもたちだけでなく、高齢の方も参加していただけるものもいと思います。

学校と公共図書館の連携

について御意見を

最近の学校では、総合学習での調べ学習や朝の読書など子どもたちが図書館を活用すべき機会が増えているようです。当然各学校での図書館教育や公共図書館との連携も深まっていることと思われませんが現状はいかがでしょう。情報・御意見をぜひお聞かせ下さい。

読者の声を!

ニュースレター「けやき」へのご意見ご感想をお寄せください。また「地域の読書サークル紹介」「けやきの本棚」への投稿もお待ちしています。(なお掲載についてはけやき編集部の判断におまかせください。)

ro g e g s ! (り) にかかされた英語での名は(F け、食べてきました。カッ (アイユイ)を屋台でみつ らなる不思議なデザート愛玉 と載つていた、桑科の植物か も。食べ歩きの本においしい ルタージュ・料理本の棚に クだけでなく、歴史書・ル 末で資料を検索。ガイドブ ヲ台湾旅行の前に図書館の端 感したいですね。さ(き) は、手を取るおもしろさも実 までの道筋の短縮。図書館で 書館で目当ての本に行き着く じています。でも、これは図 様々な資料を探すことできる を使つて、家であらかじめ インターネットの蔵書検索

編集後記

◇けやき 第12号 2003年2月24日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部

題字 高野のYさん タイトルバック 岩倉のWさん
カット 高野のHさん

◇発行 図書館友の会 けやき

京都市左京区高野東開町1-23-26-101永井方
TEL/FAX 075-721-2625